

出席者	住民	18人	市 大城市長・菊池副市長 政策推進課 山本補佐・田中主査
担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
防災危機管理課	※事前質疑 愛宕山の避難場所建設の現状について	愛宕山の避難場所建設の現状について教えてほしい。	愛宕山に緊急かつ安全に、約600台の車が避難できる避難地、また、限られた時間の中で、車避難を安全に完結させるため、避難地にアクセスする市道2路線を避難路として整備している。 事業計画では、避難路整備を令和3年度から令和16年度まで、避難地整備を令和16年度から令和26年度までに完了する予定としている。現在、大法寺から愛宕中学校までの避難路を整備しながら、愛宕山団地から避難地、緑ヶ丘から避難地までの測量調査や地盤調査などの現況調査を実施しているところである。 今後は、令和10年度頃から用地交渉を実施するなど、着実に事業を推進していく。
学校教育課	※事前質疑 八幡浜南小学校開校に伴う他地区小学校・校区の再編について	八幡浜市立南小学校が開校したが、他地区小学校・校区の再編について教えてほしい。	市では、令和10年度から令和19年度を計画期間とする学校再編整備第三次実施計画の策定のために、今年度から検討委員会を立ち上げ、今後の小学校の在り方について協議する予定である。 検討委員会では、児童数が極端に減少傾向の学校や複式学級の在り方について協議していく必要があると考える。 市としては、この検討委員会の協議結果を踏まえ、小学校の在り方(校区の再編)についての方針を定めていきたいと考えている。 なお、検討委員会の協議のなかでは、パブリックコメントの手続きを実施するので、その際に市民の皆さんにも御意見をいただきたいと考えている。 (参考) 【松蔭小学校の今後の児童数の推移(現在の住民票上での推計で転出、転入がなく現在の学区に在籍すると仮定)】 令和8年度86人(R8.4.1現在)、令和9年度87人、令和10年度87人 令和11年度74人、令和12年度76人、令和13年度68人、令和14年度60人 【学校再編整備第二次実施計画の結果】 令和3年4月1日真穴中を八代中への統合 令和7年4月1日愛宕中、松柏中、八代中の統合による八幡浜中の新設 令和8年4月1日川上小、双岩小、神山小の統合による八幡浜南小の新設
防災危機管理課	※事前質疑 自転車の青切符制度の周知について	車の免許のない高齢の主婦であるが、毎日自転車で買物に行っている。今年4月から自転車に青切符制度が導入されたことは新聞などで知ったが具体的には知らない。 歩道走行反則金6,000円、傘差し運転反則金5,000円などあるようだが、知らなかったでは済まない。 青切符制度について今日まで断片的には知っていても全体的に知る機会がなかった。八幡浜市の広報や老人会・婦人会などで広く市民に知らしめる必要があると思う。	自転車の青切符制度の周知については、すでに八幡浜市ホームページ、八幡浜市公式LINE等で周知しており、今後、八幡浜市広報においても10月号で周知する予定としている。 今後も、各関係機関と緊密に連携し、自転車の青切符制度の内容や違反事例の周知を図っていく。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
防災危機管理課	愛宕山の避難場所建設について	愛宕山の避難場所やアクセス道路の整備を、長期計画ではあるがなるべく早く進めてほしい。	愛宕山の避難路および避難地の整備については、令和20年(2038年)を目標に、まずは避難路の完成を目指し計画的に整備を進めていく。 【補足】 愛宕山プロジェクトの完成目標は、令和26年度である。
上下水道課	水道管の耐震化について	熊本地震の報道を通じて、電気と水が生活において最も重要であると痛感した。生活に不可欠な水道管の耐震化は、長期計画であり、費用はかかると思うが進めてほしい。	水道管の耐震化については、令和9年を目標に中心部を優先して順調に進めており、計画が完了すれば市全体の耐震化率は約43%となる見込みである。一方、下水道については、八潮市での道路陥没事故を受けた国の指示により、市内の大口径下水道管の緊急調査を実施した。その結果、老朽化が進み修繕が必要な箇所が確認されたが、地下深くに敷設されているため、全国的にも有効な工法が未だ確立されていない状況である。引き続き対策を検討していく。 【補足】 下水道管路緊急調査の結果により、修繕等が必要な管路については、現在対策を講じるための実施計画を策定中である。 ※【宇都宮病院前の市道内】 8-0雨水幹線管渠(ボックスカルバート内径4400×2000)の修繕対策について検討中。
施設事務組合	休日夜間急患センターの対応・支払い方法について	みかんアルバイトが農作業中の怪我で土曜日に急患センターを受診した際、所持金や健康保険証がなく受診歴もなかったため、窓口で「一部預り金(5,000円)の支払いがないと診察できない」という趣旨の説明を受けた。今回は現金を取りに戻れたが、一刻を争う緊急時における支払いルールや現金を所持していない場合の対応方法を教えてもらいたい。	未収金対策として、一定の金額を預り金としてお預かりする対応を取っている。これは、過去に市立病院の救急外来を含め、医療費の未払いが相当数発生した経緯を踏まえた措置であり、ご理解をお願いしたい。現場の言葉遣いや対応については、教育指導を徹底し、改めて改善に努めたい。 【補足】 保険証や所持金がないことを理由に、受診を断ることはしていない。引き続き、患者様に寄り添った丁寧な説明と対応に努めていく。 保険証がない場合は、いったん全額を負担してもらい、後日保険証を確認・再計算した後に差額を返金する旨を説明のうえ、受診してもらっている。これ以外の例外的な対応は担当職員(事務長補佐)が判断するが、現体制(令和6年4月～)では未収金が減少しているため、一部預かり金を求めることはしていない。 また、所持金がない場合は、支払日を取り決めた上で当日の支払いは保留としている。期日に支払いがない場合は、担当職員が電話催促や訪問徴収を行い、未収金の早期回収に努めている。
	文化的施設や生活環境について	八幡浜市は、文化活動センター(コミカン)において手頃な価格で映画鑑賞ができるほか、松蔭地区公民館ではコーラスや体操などの文化的な活動を身近に楽しむことができる。市外からも羨ましがられるような魅力的な街となったことをありがたく思う。今後も全世代が暮らしやすい街になることを期待している。	市民の喜びの声は行政の励みになる。市民が楽しみ、賑わうことが人口減少対策や市外からの来訪者増加にもつながる。今後も市民が心地よいと思える市政を目指す。
生涯学習課	公民館のソーラーパネル未稼働について	松蔭地区公民館に設置されたソーラーパネルが、国の許可が下りていないという理由で未だに稼働していない。災害時に備えて早く稼働できるようにしてほしい。	担当課に状況を確認する。 【補足】 太陽光発電設備を稼働させるために必要な国への届出が、電気設備工事の請負事業者において完了していなかったことが原因であった。一日も早く設備を稼働できるよう、必要な手続を速やかに進めるよう求めている。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
農林課	JR八幡浜駅前のミカンの木の管理について	JR八幡浜駅前にあるみかんの木がすすで汚れた状態になっている。市の所管外かもしれないが、市の玄関口の景観にも関わるため、市として何らかの対処をしてほしい。	駅前のみかんの木は、市のPRのためにJRのご厚意で植栽されており、園児の収穫体験を通じて市の農林課も関わっている。ご指摘の「すす汚れ（すす病）」については、JRのみでの専門的な手入れは難しいと思われるため、市としても農林課を通じてJRと連携し、適切な対応や支援を検討したい。 【補足】 今回寄せられたご意見をJAIにしうわへ共有し、管理状況について確認した。駅前のみかんの木はJRが管理しているが、施肥や剪定などの作業はJAIにしうわが行っているとのことである。ご指摘のあった「すす汚れ（すす病）」については、今後、JAIにて消毒作業を実施する。